

行政事業レビューシート

(文部科学省)

予算事業名	独立行政法人国立美術館運営費交付金に必要な経費		事業開始年度	平成13年度		作成責任者
担当部局庁	文化庁		担当課室	政策課		政策課長 大木 高仁
会計区分	一般会計		上位政策	芸術文化の振興		
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	独立行政法人国立美術館法 第3条		関係する計 画、通知等	中期目標、中期計画、業務方法書		
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行 程度以内)	美術館を設置して、美術(映画を含む。)に関する作品その他の資料を収集し、保管して公衆の観覧に供するとともに、これに関連する調査及び研究並びに教育及び普及の事業等を行うことにより、芸術その他の文化の振興を図ることを目的とする。					
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	国立美術館は、東京国立近代美術館、京都国立近代美術館、国立西洋美術館、国立国際美術館及び国立新美術館を設置し、主に次の事業を実施。 ①美術に関する作品その他の資料を収集し、保管して公衆の観覧に供すること。 ②①の業務に関連する調査及び研究を行うこと。 ③①の業務に関連する情報及び資料を収集し、整理し、及び提供すること。 ④①の業務に関連する講演会の開催、出版物の刊行その他の教育及び普及の事業を行うこと。					
実施状況	【平成21年度実績】 ○我が国の美術振興の中心的拠点として、利用者のニーズや調査研究の成果を踏まえ、各館の特色を活かした多様で秀逸な美術作品の鑑賞機会を提供。 【展覧会】 ・所蔵作品展・・・延べ1,082日・展示替24回開催 ・企画展・・・延べ36回開催 ・映画の上映会・展覧会・・・延べ22回で開催 ・入館者数・・・4,556,325人 【巡回展】 ・地方巡回展・・・3回・4会場で開催 ・映画巡回上映・・・6事業・205会場で開催 ○我が国の近・現代美術及び海外の美術を体系的・通史的に提示し得るナショナルコレクションの形成・継承のために美術作品を収集・保管。 【美術作品】購入400点、寄贈229点。 【映画フィルム作品】購入1,194本、寄贈1,648本。 ○展示、教育普及その他の美術館活動の推進を図るために必要な調査研究活動を実施。 【調査件数(テーマ数)】107件(展覧会の開催に関するもの、教育普及に関するもの等) ○調査研究の成果等を踏まえた教育普及活動の実施や国内外の美術に関する情報等を発信。 【実施回数】展覧会にあわせた講演会やシンポジウム等・・・延べ766回実施、参加者数52,354人 ※うち児童生徒を対象とした事業・・・延べ243回実施、参加者数8,592人 【図書資料の収集】25,495件 【図書室の利用者数】45,442人					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	6,042	5,790	5,773	5,859	5,726
	執行額	6,042	5,790	5,773		
	執行率	100.0%	100.0%	100.0%		
	総事業費(執行ベース)	7,024	6,883	6,588		
自己点検	支出先・使途の把握水準・状	○本部職員及び監事が各館へ出向き、内部監査、監事監査により、国立美術館各館の契約状況等の確認及び把握。 ○法人に設置されている契約監視委員会(監事及び外部有識者で構成。)による契約の点検・見直しにより、契約の適正性・公平性の確認及び改善方策等の検討を実施。 ○法人の業務報告実績を基に法人に置かれた外部評価委員会において目標に対する達成度等の評価を実施。				
	見直しの余地	○欧米諸国における国を代表する美術館と比較して、日本の国立美術館のコレクションが充実しているとは言えないことから、今後コレクションを充実させるためには、調査研究や情報収集の充実、寄贈作品の積極的な受入等が必要。 ○ナショナルセンターとして意義ある展覧会に少しでも多くの者が足を運んでもらえるよう、出品作家や入館者の年齢等を考慮しweb媒体の活用による広報やホームページを通じての情報発信を充実するなどの限られた経費を有効的に活用する検討が必要。 ○外部委託が可能と思われる業務については、当該業務の信頼性、継続性及び専門性等を確保できる範囲の殆どを外部委託により実施しているが、効率化を含めた更なる外部委託等について検討を行う。 ○複数者が応募できるよう、応募条件等の見直しを検討する。				
予算編成・所見の効率化	1. 事業評価の観点:この事業は、独立行政法人に対する運営費交付金の交付事業であり、事業の効率化の観点から検証する。 2. 所見:これまで業務運営の効率化に努めてきたところであるが、今年度の事業仕分けにおいて、「民間からの寄付、自己収入の拡大、コスト削減といった努力を徹底し、国からの負担を増やさない形で充実を図る」こととされており、それを踏まえ事業の充実を図りつつ、一方で引き続き効率化を進めることにより、国費の削減に努めるべきである。 なお、競争参加条件等のより一層の見直しを図るなど、契約の競争性、公平性、透明性を確保すべきである。					
補記						

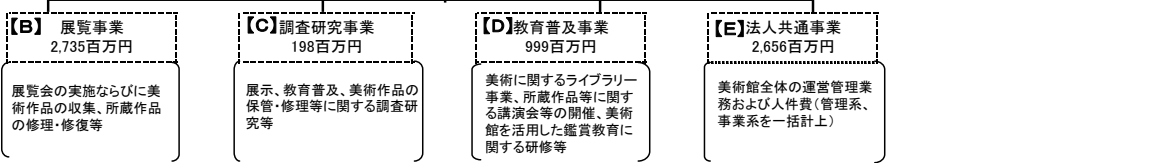
文化庁
5,773百万円

独立行政法人国立美術館に対し、その業務の財源に充てるために必要な金額を交付する。

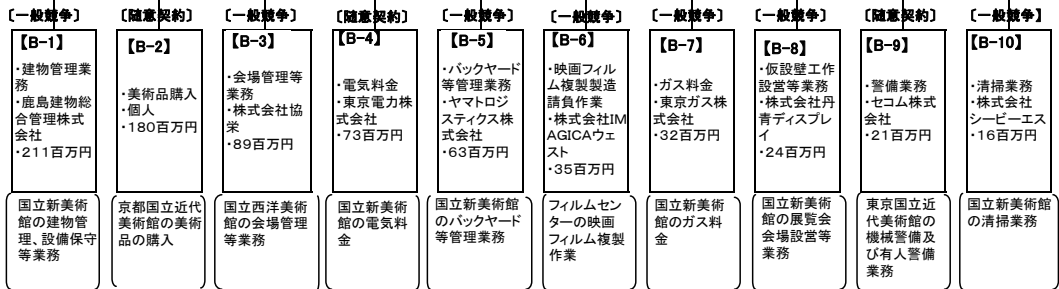
〔交付〕

〔A〕 独立行政法人国立美術館
6,588百万円(運営費交付金部門)

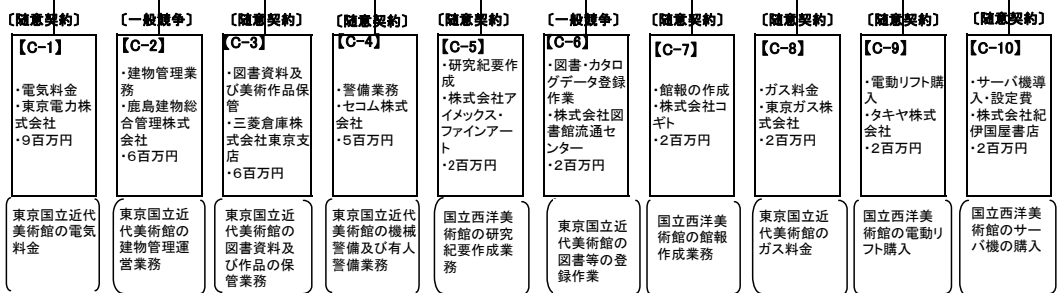
※〔A〕には、当該年度運営費交付金の執行分のほか、自己収入及び前年度以前の運営費交付金債務からの執行分も含む。



〔B〕 展覧事業



〔C〕 調査研究事業



〔D〕 教育普及事業



〔E〕 法人共通事業



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

	A.独立行政法人国立美術館			E.法人共通事業		
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
費目・使途 （「資金の流れ」において ブロックごとに最大の金額が 支出されている者について記載 する。使途と費目の双方で 実情が分かるように記載）	事業費 (物件費)	所蔵品購入、光熱水料、会場管理業務等 (内訳はB～Dを参照)	3,932	管理費 (物件費)	土地借料、建物管理業務、光熱水料、 警備業務等	1,467
	管理費 (物件費)	土地借料、建物管理業務、光熱水料等	1,467	事業費 (人件費)	事業系人件費	843
	事業費 (人件費)	事業系人件費	843	一般管理費 (人件費)	管理系人件費	346
	一般管理費 (人件費)	管理系人件費	346			
	計		6,588	計		2,656
	B.展覧事業			B-1.鹿島建物総合管理株式会社		
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
	事業費 (物件費)	所蔵品購入、光熱水料、会場管理業務、 バックヤード管理業務等	2,735	役務	国立新美術館の建物管理、設備保守等 業務	211
	計		2,735	計		211
	C.調査研究事業			B-2.個人		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)	
事業費 (物件費)	図書購入費、光熱水料、印刷製本費等	198	その他	京都国立近代美術館の美術作品の購 入	180	
計		198	計		180	
D.教育普及事業			B-3.株式会社協栄			
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)	
事業費 (物件費)	光熱水料、アーツライブラリー閲覧サービ ス業務、図書館情報管理システム保守	999	役務	国立西洋美術館の会場管理等業務	89	
計		999	計		89	
B-4.東京電力株式会社			B-8.株式会社丹青ディスプレイ			
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)	
その他	国立新美術館の電気料金	73	役務	国立新美術館の展覧会会場設営等業 務	24	
計		73	計		24	
B-5.ヤマトロジスティクス株式会社			B-9.セコム株式会社			
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)	
役務	国立新美術館のバックヤード等管理業 務	63	役務	東京国立近代美術館の機械警備及び 有人警備業務	21	
計		63	計		21	
B-6.株式会社IMAGICAウエスト			B-10.株式会社シーピーエス			
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)	
役務	フィルムセンターの映画フィルム複製作 業	35	役務	国立新美術館の清掃業務	16	
計		35	計		16	
B-7.東京ガス株式会社			C-1.東京電力株式会社			
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)	
その他	国立新美術館のガス料金	32	その他	東京国立近代美術館の電気料金	9	
計		32	計		9	

費目・使途 （「資金の流れ」において ブロックごとに最大の金額が 支出されている者について記載 する。使途と費目の双方で 実情が分かるように記載）	C-2.鹿島建物総合管理株式会社			C-6.株式会社図書館流通センター		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	役務	東京国立近代美術館の建物管理運営業務	6	役務	東京国立近代美術館の図書等の登録作業	2
	計		6	計		2
	C-3.三菱倉庫株式会社東京支社			C-7.株式会社コギト		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	その他	東京国立近代美術館の図書資料及び作品の保管業務	6	製造	国立西洋美術館の館報作成業務	2
	計		6	計		2
	C-4.セコム株式会社			C-8.東京ガス株式会社		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
役務	東京国立近代美術館の機械警備及び有人警備業務	5	その他	東京国立近代美術館のガス料金	2	
計		5	計		2	
C-5.株式会社アイメックス・ファインアート			C-9.タキヤ株式会社			
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)	
製造	国立西洋美術館の研究紀要作成業務	2	その他	国立西洋美術館の電動リフト購入	2	
計		2	計		2	
費目・使途 （「資金の流れ」において ブロックごとに最大の金額が 支出されている者について記載 する。使途と費目の双方で 実情が分かるように記載）	C-10.株式会社紀伊國屋書店			D-4.株式会社図書館流通センター		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	その他	国立西洋美術館のサーバ機の購入	2	役務	国立新美術館のアートライブラリーの請負業務	17
	計		2	計		17
	D-1.鹿島建物総合管理株式会社			D-5.株式会社シービーエス		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	役務	国立新美術館の建物管理、設備保守等業務	222	役務	国立新美術館の清掃業務	17
	計		222	計		17
	D-2.東京電力株式会社			D-6.東京都水道局		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
その他	国立新美術館の電気料金	77	その他	国立新美術館の水道料金	14	
計		77	計		14	
D-3.東京ガス株式会社			D-7.TIS株式会社			
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)	
その他	国立新美術館のガス料金	34	役務	京都国立近代美術館のネットワーク敷設作業	6	
計		34	計		6	

費目・用途 （「資金の流れ」において ブロックごとに最大の金額が 支出されている者について記載 する。用途と費目の双方で 実情が分かるように記載）	D-8.岡村印刷工業株式会社			E-2.鹿島建物総合管理株式会社		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
	製造	国立国際美術館のカタログ製造増刷	5	役務	国立新美術館の展示室床パネル用下地 金物交換作業	46
	計		5	計		46
	D-9.セコム株式会社			E-3.東京電力株式会社		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
	役務	東京国立近代美術館の機械警備及び有 人警備業務	5	その他	国立西洋美術館の電気料金	30
	計		5	計		30
	D-10.株式会社リコー			E-4.鹿島建物総合管理株式会社		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
役務	東京国立近代美術館の図書館情報管理 システム保守業務	5	役務	東京国立近代美術館の建物管理運営 業務	27	
計		5	計		27	
E-1.(独)国立大学財務・経営センター			E-5.東京ガス株式会社			
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)	
その他	国立新美術館の土地借料	592	その他	国立西洋美術館のガス料金	15	
計		592	計		15	
費目・用途 （「資金の流れ」において ブロックごとに最大の金額が 支出されている者について記載 する。用途と費目の双方で 実情が分かるように記載）	E-6.社団法人日本建築学会			E-10.東京都水道局		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
	役務	国立西洋美術館の世界遺産登録推薦に 関する保存活用計画改定方針の策定業 務	13	その他	国立西洋美術館の水道料金	7
	計		13	計		7
	E-7.住友電設株式会社京都支社					
	費目	用途	金額 (百万円)			
	役務	京都国立近代美術館の中央監視制御設 備更新作業	13			
	計		13			
	E-8.鹿島建物総合管理株式会社					
	費目	用途	金額 (百万円)			
役務	国立新美術館のRSチラー冷却水ポンプ の台数制御・INV制御導入作業	12				
計		12				
E-9.セコム株式会社						
費目	用途	金額 (百万円)				
役務	東京国立近代美術館の機械警備及び有 人警備業務	8				
計		8				